

蔵王瀧山・五郎岳

2014年10月12・13日

リーダー:松島 毅(山組) / 伊藤 松雄(バスハイク組)



山組 瀧山の山頂にて↑

10月遊友ハイキング山行記録

山組 リーダー 松島 毅



右から佐藤さん、岡本八重子さん、リーダーの松島さん↑ 蔵王地域を満喫する計画でした。

しかしながら直近になり台風の接近を迎え日程順を変更し、更に2日前に蔵王の火山報道が有り急遽登山のルートを変更しました。

参加メンバーには気苦労を掛けましたが、先ずは無事に帰宅出来たことに安堵しています。

会長の経験と的確な判断により山行の安全第一を考えながら行動計画を作り替えました。

改めて会長とメンバーのご協力に感謝致します。

10月12日

予定通りせんげん台経由春日部を6:00に出発し、東北道～山形道～西蔵王高原ラインを経て蔵王中央ロープウェイ駅(11:10)に到着。バスハイク組の13人が下車しロープウェイでドッコ沼に向かいました。

山行組16人はスカイケーブル駅麓まで行き、スキー場脇道から瀧山(りゅうざん)登山道に入った。(11:30)

紅葉と瀧山の岩峰が美しい、気持ちの良い山道が続きます。

瀧山山頂到着(13:05) 山頂からは見事な景色を見ながら昼食をとり、集合写真後13:30にドッコ沼に向かっての尾根道歩きを開始。

幾つかのアップダウンの有る尾根道からは目的地がはるか遠くに見えたが、陽気な会話と励まし合いにより頑張ったので非常に順調なペースで進みました。

15:00予定通りドッコ沼に到着。バスハイク組と合流。

下山後一路青根温泉に向かい17:00に不忘閣に到着。

不忘閣は486年前の開湯で伊達家の湯治(青根御殿)でもあった大変由緒有る湯宿です。

建物、備品、調度品など国の有形文化財を数知れず有しています。

18:30夕食開始、20時頃から宴会のお楽しみが始まりました。

今回の宴会イベントは知名さん、北山さんの企画で大変盛り上がりしました。

10月13日

青根温泉不忘閣朝食後8:50から青根御殿の案内がありました。青根御殿は伊達正宗はじめ伊達家の湯治のために建てられたものですが、現存建物は大火焼失後昭和初期に再建されたものとのことです。

また多くの文人や著名人に愛されたようです。

9:35感動の不忘閣を出発し次に村田蔵の街を散策、その後白石に向かい白石城を見学しました。歴史の奥深さと地域の栄枯盛衰を感じる見学となりました。

13:00うーめん番所にて昼食。当店社長の詳しい解説を受けながら食べた本場うーめんは美味でした。

14:00うーめん番所を出発、予定のスケジュールは全て消化し帰路に就く。

19:30春日部到着、19:45せんげん台に無事到着。

最後に!

今回の蔵王山行に於いては台風、火山の状況に影響された為、直近に予定の変更を行いました、ご協力により非常に楽しい山行になりましたこと感謝致します。

宴会とバス内のお楽しみ企画にご尽力頂いた知名さん、北山さん、市川さん、会計専念の品川さんには3回の事前打ち合わせから参画して頂き本当に有難うございました。

宴会での皆さんのパフォーマンスも今後とも忘れることは無いでしょう。(松島)

10月山行「蔵王龍山」に参加して／戸邊茂雄

10月12日(日)～13日(月)、「蔵王龍山」の山行に参加しました。当初の計画は蔵王連峰の刈田岳(1,758m)、熊野岳(1,841m)、地蔵山(1,736m)を登る予定でした。ところが刈田岳、熊野岳、五色岳に囲まれた蔵王のシンボルである円形の火口湖「御釜」に10月8日に湖面に白濁した部分が見られ、9月30日以降、火山性地震が多い日で5回以上、長い時で4分以上の火山性微動が発生しているとの報道がありました。仙台管区気象台が、「御釜とその周辺では新たな噴気孔の発生や火山ガスの噴出といった現象が考えられる」と発表しましたので、先月27日に噴火して戦後最悪の被害をもたらした「御嶽山」の事もあるので急ぎで登山先を標高1,362mの蔵王龍山(リュウザン)に変更しました。蔵王龍山は、山形市内から蔵王連峰を眺めた時に目の前に高く聳えて見える山です。「瀧山」と書いてリュウザンと呼びますが、以前は「瀧の山」と呼ばれていました。



↑ 瀧山頂上に立つ戸邊さん

12日(日)朝5:45にせんげん台駅前から大型バスで出発です。今回のドライバーは遊馬(あそま)さんです。6:00に春日部駅前で春日部組が乗車して今回の参加者29名が揃いました。また、春日部には今回不参加の小倉さんが見送りに来てくれました。6:38に久喜ICから東北自動車道に入り、10:15に村田JCTから今度は山形自動車道に入り、10:42に山形蔵王ICから高速を降りました。それから西蔵王高原ラインを通過して11:10に蔵王中央ロープウェイの温泉駅に着きました。ここでバスハイク組13名が下車しました。バスハイク組はこれからロープウェイで鳥兜駅まで上がり、ハイキングコースを楽しみます。我々登山組16名はもう少しだけバスに乗って11:15に蔵王スカイケーブルの上の台(うわのだい)駅で下車しました。ここからケーブルに乗らずに龍山の頂上まで登山です。

ここから登山口までは少し歩きます。目の前に見える龍山を見上げながら少し歩いたところの広場で藤井さんの音頭で準備体操をしてからまた少し歩いたところで登山口の標識がありました。そして10分程歩いたでしょうか、道を間違えていることに気づき登山口近くまで引き返して正しいルートを進みました。頂上まではずっと紅葉した樹林の中を進みましたが、所々に眺めの良い場所があり、紅葉の山々や下界の街並みを眺望することもできました。13:05に龍山の頂上(標高1,362m)に到着しました。雲一つない晴天で周りが眺望できる頂上で昼食を食べました。30分間の昼食タイムの後はバスハイク組が待つドック沼に向かいました。下ったり上ったり山歩きでしたが、頂上までの登りの時よりは周りを眺望できました。15:00丁度にドック沼に着きましたが、バスハイク組が先に着いて待っておりまして。紅葉に染まったドック沼で写真を撮って15:30に蔵王スカイケーブルの中央高原駅からケーブルカーでバスが待つ上の台駅に降りました。15:40バスに乗り込み今回の登山が終了しました。

この後は宿泊先の青根温泉不忘閣に向かいます。西蔵王高原ラインを通

て山形蔵王ICから山形自動車道に入り宮城川崎ICで降りて国道286号、457号を通過して17:00丁度に不忘閣に到着しました。青根温泉不忘閣は仙台伊達家の湯治場で国の有形文化財でもある秘湯です。早速に入浴です。浴場は6か所ありましたが、中でも最も入りたかった蔵湯に一番入りました。土蔵の中の広い空間に造られた檜のお風呂で、お殿様気分を満喫しました。18:30から夕食なのでその前に2つのお風呂を楽しみました。そして大広間で夕食と宴会となりました。美味しい料理がたくさんあってお酒も進みましたが、宴会の余興が素晴らしかった。最高の宴会でした。企画して下さった知名さん、北山さん、市川さんに感謝です。その後再び温泉に浸かった後、幹事部屋で二次会です。ほとんどのメンバーが集まって23時過ぎまで盛り上がりました。私は23:30に就寝です。

翌朝は5時ごろに目を覚ましましたが、6時丁度に起床しました。朝風呂に入ってから8時に朝食です。朝食のおかずも多く、ご飯もお代わりして食べました。8:50から女将さんが館内を案内してくれました。お殿様やお姫様が使った品々、古文書などを見学してから、女将さんと仲居さん達に見送られて9:35に不忘閣を後にしました。国道457号、県道12号を通過して10:05に道の駅村田に着きました。ここで江戸時代に紅花交易で栄えた村田町を散策です。村田は重要伝統的建造物群保存地区に指定されていて、多くの蔵が立ち並び、「みちのく宮城の小京都」とも言われる蔵の町です。11:30まで1時間ほど散策した後、今度は白石に向かいました。村田ICから東北自動車道に入り、白石ICで降りて「うーめん番所」に11:50に着きました。これまで何とかもっていた天気も雨が落ちてきて、ここで傘を使うことになりました。13:00～お昼(うーめん)を予約しているので、それまでの間は白石散策です。伊達の重臣片倉の城「白石城」と片倉家旧小関家武家屋敷を見学しました。村田と白石、2箇所の散策でお腹も空いたところで昼食となりました。JRのコマーシャルで吉永小百合が撮影された場所です。うーめんを頂きましたが、私のお腹は物足りなさを感じておりました。14:00にうーめん番所を後にして、後は春日部に飲み続けてしまいました。19:00に久喜ICで高速を降り、19:30に春日部に到着、終点のせんげん台には19:45に着きました。台風の影響で雨も降っていましたが、せんげん台組のうち私を含めた5人は、いつもの中華食堂で反省会を行って私の帰宅は21時でした。

今回は、火山性微動による登山先の変更や台風19号の心配などにより何度も計画を変更することになりました。会長、リーダーをはじめ役員方には大変ご苦労がかけられましたが、紅葉、温泉、宴会等全て最高の山行となりました。今後語り継がれるほどの思い出ができました。感謝、感謝です。ほんとうにありがとうございました。

「蔵王五郎岳」の山行報告

バスハイク組(大人組)村田正博

目に沁みる紅葉を楽しもうと心のソフトを重要視する13人(男3人女10人)が蔵王ロープウェイ(≒1,260m)を後にしたのは11:40頃でした。ブルーの地にキャンパスの絵具を蒔いた世界を歩くこと約30分で片貝沼に着きました。湖を見ながら昼食をとりましたが、借景は地蔵岳の斜面にダケカンバ、ナラ、うるし等を中心に紅色、黄色、橙色が片貝沼に映ってファンタステックな世界を演出しています。京都の懐石料理店で、市内の庭なし店で5,000円の料理が同じメニューでも嵯峨野の本店で庭と器の違いで2万円だった記憶があります。正に食事の場所と借景は豪華な食卓に欠かせません。その後登り20分の五郎岳(1,413m)で360度の景観を楽しみ(山組の瀧山山頂を眼下に)、三五郎小屋でビール他を堪能してハードな肉体労働を終えた山組と15:

00頃に合流しました。

額を掛ければどこでも絵になる紅葉風景、多色刷りの池、宿泊した不忘閣の大きく歴史のある温泉を堪能しました。日本に生まれて、この遊友ハイキングクラブに入部できたことに感謝した一日でした。この企画運営をしてくれました伊藤会長、松島リーダー、品川さん、知名さん、北山さん、市川さんに大変感謝しています。



↑ ビールで乾杯の大人組?



↑ 宴会をたいへん盛り上げてくれた、左から知名さんと北山さん



↑ この盛り上がりは伝説になりそう。



10月13日の村田市・白石市観光の様子↑

11月塩原山行のご案内

心配した蔵王山行は、山組・バスハイク組(以下悠々組)の熱いバトルがはじけて、雲ひとつない抜ける秋空をよびよせました。また、台風の進路も遅らせて無事帰宅することができたのも、皆様のご協力の賜物のと感謝申し上げます。以下に11月山行の山組・悠々組コースを作成しましたのでよろしくお願いいたします。

山組ルート(塩原自然研究路)・リーダー松島

今回たどる塩原自然研究路は、昭和33年に自然研究路として日本最初に整備されたコースです。このコースには噴煙や山、沼に川辺、温泉有りと変化にとんだコースです。小太郎ヶ淵には茶屋があって、名物の草だんごが食べられます。この辺の紅葉は美しく、塩原温泉ビジターセンターまで紅葉シャワーを浴びることでしょう。

千間台6時発→春日部6時15分発→久喜IC→(東北道)→宇都宮IC→(日光宇都宮道)→今市IC→(R121号)→(日塩もみじライン)→奥塩原新湯温泉神社(山組下車)…(1時間)…富士山(ふじやま)(1184m)…(30分)大沼(昼食)…(70分)須巻富士分岐…(15分)…小太郎ヶ淵(休憩)…(10分)…鹿股橋…(5分)…塩原温泉ビジターセンター(バス乗車)→(国道440号)→塩原グリーンビレッジ入浴→西那須野塩原IC→(東北道)→久喜IC→春日部→千間台着



富士山→

塩原自然研究路は、日本で最初にできた自然研究路です。「日本森林浴百選」にも選ばれた美しい原生林や水清らかな湿原です。

今月も登山組とバスハイク組に分かれて行動します。

●山組／富士山(ふじやま1184m)他

●バスハイク組／「やしおコース」他

悠々コース(やしおコース)・リーダー伊藤

塩原溪谷にある遊歩道のなかで一番歩きやすいコースで、つり橋や滝、箒川(ほうきがわ)が紅葉を従えて艶やかに色めきます。大正天皇が滞在した天皇の間には入館することができて、蔵王不忘閣の伊達のお殿様に続いて今度は天皇です。

千間台6時発→春日部6時15分→(日塩もみじライン)→(国道440号)→塩原温泉ビジターセンター 箒川ダム駐車場(バスハイク組下車)……(5分)… 箒川ダム…(10分)…布滝観瀑台…(35分)…不動吊橋…(10分)…天皇の間記念公園(200円)…七ツ岩吊橋…(15分)…鹿股橋付近散策…(15分)昼食は適当なところで食べます。…塩原温泉ビジターセンター(バス乗車)→塩原グリーンビレッジ入浴→(R400号)→西那須野塩原IC→(東北道)→久喜IC→春日部→千間台着
持参品・入浴セット、防寒着、雨具などです。

キャンセル料の発生は、10月26日(日曜日)以降から発生します(3000円)。やむをえずキャンセルされる方は、松島さんに連絡してください。

以上が今回たどるルートです。今回も大型バスですのでゆとりとして行きましょう。

【日時】11月2日(日)

【集合】せんげん台6時00分
春日部6時15分

【持ち物】ハイキング支度・昼食・雨具・防寒対策

【入浴】塩原グリーンビレッジ(720円)

【申込み】大型バスのため、定員に余裕があり受け付けています。

【リーダー】山組：松島 毅 悠々組：伊藤 松雄